

あっぱれ 優 拍手!

小学生

■第31回全国少年少女レスリング選手権大会
3位 女子の部 4年生 36kg級
山倉和華(久賀小)

■スナッグゴルフ対抗戦千葉地区予選会
優勝 久賀小
3位 第二小

全国大会
出場

中学生

■郡市中学校陸上競技大会
優勝 女子共通走り幅跳び 清野涼々花
男子2年生 100m 小林隼人
2位 女子共通走り幅跳び 菅澤桃子
女子1年生 100m 卯田玲央菜
女子共通4×100mリレー
藤崎なつ美・菅澤桃子・五木田茉莉・清野涼々花
3位 男子800m 佐々木啓吾
女子2年生 100m 藤崎なつ美
女子共通走り高跳び 郡司なな
男子低学年4×100mリレー
石井大輝・平山裕貴・渡貴泰政・佐藤祥

■郡市中学校サッカー大会
3位 サッカー部
敢闘賞 幸島一樹

県総体
出場

■郡市中学校卓球大会
2位 男子ダブルス
萩原逸輝・山崎陽登ペア
男子団体 男子卓球部

県総体出場

3位 男子シングルス 飯田将仁

県総体出場

■郡市中学校野球大会
優勝 野球部

県総体出場

最優秀選手賞 萩原尊
最優秀投手賞 並木愛季

■郡市中学校バスケットボール大会
3位 男子バスケットボール部
優秀選手賞 平山大祐

■郡市中学校ソフトテニス大会
2位 男子個人
植松優・内田智士ペア

県総体出場

女子団体 女子ソフトテニス部

3位 男子個人
田口直弥・小川稜真ペア

県総体出場

女子個人
鈴木日向・藤崎里彩ペア

■郡市中学校柔道大会
3位 男子個人 81kg級 並木友汰

男子団体 男子柔道部

■関東中学生ゴルフ選手権大会
5位 女子団体 中谷鈴音・菅澤結衣・平山光優

全国大会
出場

■県中学校総合体育大会陸上競技の部
3位 女子共通走り幅跳び 清野涼々花

8位 男子2年生 100m 小林隼人

■関東ジュニアゴルフ選手権
予選通過 女子個人 中谷鈴音

全国大会
出場

一般

■第15回町民ソフトバレーボール大会
優勝 女子の部 PTC
2位 男子の部 PTC
3位 多古グローリー

“のど”の見せ所

7月6日、文化ホールでは多古町民謡連合会による第37回多古町民謡発表大会が開催され、多くの方々が会場を訪れました。出演者全員による多古町音頭・花笠音頭の合唱から始まり、日頃から練習を重ね、鍛えた「のど」から奏でられる全70曲目以上ものすばらしい歌声に、来場者のみなさんは熱心に耳を傾けていました。古くから歌い継がれてきた民謡には各地の特徴が表れていて、その歌声に日本の伝統が感じられた1日となりました。



頑張れ！未来のプロゴルファー

町の体育協会や教育委員会では地域の方々の協力をいただきながら、ゴルフを通じた青少年の健全教育を推進しています。そんな中、7月9日に開催された一般社団法人日本ゴルフツアー主催の第10回スナッグゴルフ対抗戦千葉地区予選会では、久賀小学校が優勝、第二小学校が第3位と素晴らしい成績を収め、仙台で開かれる全国大会の出場を決めました。出場する児童たちの活躍が期待されます。



久賀小学校



第二小学校

大切な救命のリレー

小学1年生の保護者を対象に各学校で開かれる家庭教育学級。中村小学校では例年、プールや海水浴など子どもにとって危険が多くなる夏休み前に、普通救命救急講習会を消防署で行っています。7月10日、参加した9名のお母さん方は、「心肺蘇生法」「AEDの使い方」「のどに詰まった異物除去」について署員の指導のもと、3時間の講習を受けました。



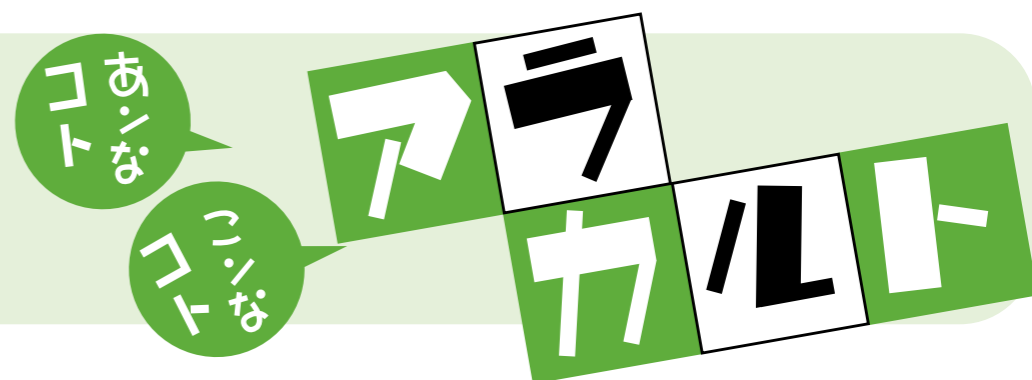
講習を終えて、学級長の五十嵐さんは「日常において、いつ何が起こるか分かりません。救命処置はいざという時に対応できるように繰り返し習うことが大切ですね」と感想を話されました。

毎年恒例の健康講演会！今年のお題は？

梅雨が明け、蒸し暑い日が続き始めた7月24日、中村小学校の視聴覚室では、北中で前田医院を開業している前田秀一先生を講師に、中地区社会福祉協議会主催による健康講演会が行われました。今年は「不眠症」についての講演です。睡眠を妨げる原因には頻尿や睡眠時無呼吸症候群などの身体的なものや精神的なものがあること、寝方を変えることでの改善策や睡眠導入剤・安定剤の使用上の注意など治療法や予防について学ぶことができました。



町の出来事や頑張っている皆さんを紹介するアラカルトコーナー。
このコーナーでは、皆さんからの情報をお待ちしています。
〒289-2292
多古町役場総務課広報係 ☎76-2611



池一面に生い茂るヒシ



忍者が使ったといわれている!?「ヒシ」の実



コミュニティが支える「大原内の池」のヒシ取り掃除

7月5日、地元の消防団も加わった地域の大人たち30名以上が集まって、朝8時から丸一日かけて「大原内の池」のヒシ取り大掃除は行われました。

タイヤのチューブを使った「いかだ」に乗ってクマデでかき集められた「ヒシ」は、2tダンプでおよそ15台分もの量になるそうです。

池一面を覆い尽くすほどまでに増えてしまったヒシにより、魚が酸素不足に陥って死んでしまったり、冬に枯れて沈むとヘドロとなって夏に悪臭を放つことから、10年ほど前からこの大掃除が始まったとのこと。葉から池底に長い茎が伸びるヒシを根こそぎ取るのは、かなりの重労働。「今年は曇っているからまだ助かるけど、暑い日はみんなへとへとだよ。作業する人もだんだん高齢になってくるから、この先ずーっと続けていくのは難しいね。何か良いアイデアでもあればいいのだけど」とみなさんは話されます。

力を合わせて頑張るぞ！

町内の小学4年生から6年生を対象に、自然や創作など様々な体験活動を行う多古っ子カレッジが今年も開校。第4回目となる7月6日、運動療法指導を行っている青木茂先生を講師に、ゲームを通して体を動かすスポーツ交流体験が行われました。

「現代の子ども達は体の調整力が弱く、とっさの動作が苦手です。今日は反射神経などを鍛える運動を楽しく行います」と青木先生は話されます。二人一組で柔らかい輪を使ったキャッチングや、チーム戦でひもを通した板の上にペットボトルを乗せ、みんなでひもを引っ張ってバランスをとりゴール地点まで運ぶゲームなどいろいろな道具を使って体を動かしました。最初は静かだった会場も徐々に打ち解けあって、最後はみんなで盛り上がることができました。

